

**1. 活動報告（事務局 記）**

ー2月7日（日）平成22年初となる現場の活動をしました。参加された方は凍てつくような氷の中の間引き作業、大変ご苦労さまでした。また心より感謝いたします。

## ① 会報100回記念冊子の御手渡し済

作成部数は50冊で会員の方にお買い上げをいただいたのが35冊、公共やお世話になっている方に14冊、残る一冊は2月7日の参加者で相談して故吉富壮介さんご家族に寄贈いたしました。したがって残りは全くありません。

## ② エコアップ湿地帯のスゲ間引き作業、ため池内のガマの穂掃討、スゲ間引き作業、ハス田のオオフサモの掃討作業

## ③ 湿地帯散策橋の修復作業でした。

午後会員4名にてニホンアカガエル、カスミサンショウウオの産卵状況を須賀河内川上流域まで調査しました。

ー2月21日（日）地域の行事のためこの日に変更されました。15名の参加者がありエコアップ（湿地帯スゲの間引き、ため池のイグサ間引き）と修復工事（水路のU字溝設置、旧そば田への渡し橋の取り除き）ほかトイレのクリーニングを行いました。

その他おいでませ山口国体、山口大会のボランティア募集説明をしました。

その他 休日にタテバチドメグサの間引を前田歳朗エコアップリーダーが活動されています。

**2. 今後の予定（事務局 記）**

## ◎ 見学者

予定はありません

## ◎ 行事

ー3月 7日（日）維持活動（特に修復工事とエコアップ）

ー3月20日（土）維持活動（特に修復工事とエコアップ）

ー3月27日（土）会計監査

ー4月 3日（土）平成22年度総会

**3. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）**

‘10. 1. 1 曇り

神奈川県から帰省中、ビオトープをのぞいてみました。こちらでお世話になったとき、年中だった息子は小5となり、ビオトープの中を、うれしそうに走りまわっています。以前と変わらず自然が沢山あふれていて、管理を継続されている皆さまの努力に感動しました。今後も活動がより発展されますよう、お祈りしております。 和田（元会員の和田陽子さん）

2010. 1. 1

○キレイでした。 ○橋が怖かった。 ○水車につららがあつた。 ○雑草が多かつた。

1月30日 じいちゃんとびょうとうふにいきました。たえびとかえるのたまごをみました。

川上小1年 みすみ ゆう

#### 4. 会員の声

( 原田 満洲夫 記)

今年の冬場は、合鴨がいないせいかピオトープを覗く事が少なくなりました。時折覗くと野生のカモが水を張った田んぼの水を濁かして飛び立った跡が見受けられたり、シイタケの山まで入ると取り残したシイタケが大きく傘をを広げて薄茶色になっているなど、違った面での景色が見受けられます。

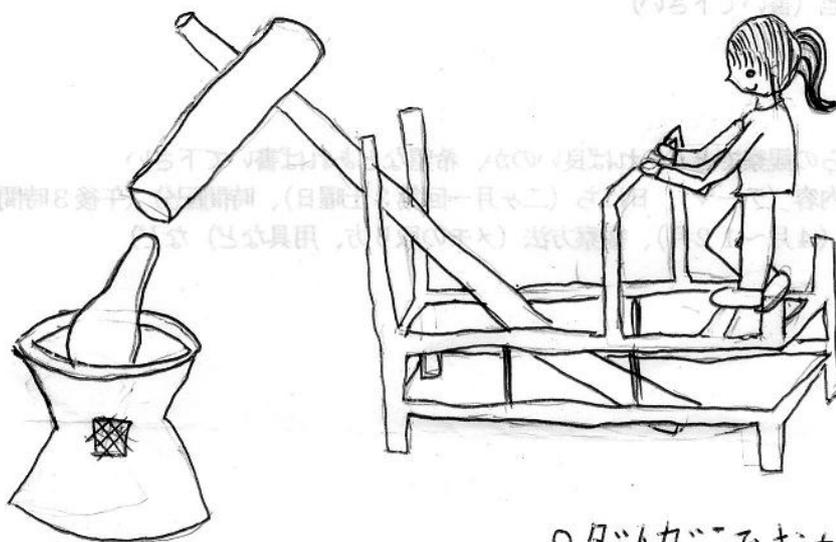
今年の活動計画では、田んぼでのもち米栽培をしないことになったし、児童相手の観察隊も無くなり、真にゆっくりとして、念入りなピオトープの管理活動が出来ると思いますが、この冬場のゆっくりさはこれで本当にいいのだろうか逆に関心になってきました。いや！今までがやり過ぎだったのだろうか？などとも思います。

#### 5. 里山自然観察隊の保護者アンケートより抜粋

- ・ いつもお世話になっております。だんだんと行事が少なくなっていくのは時代の流れでしょうか。最初の頃は、もっといろいろな行事があったようですね。もっと早くから参加していれば良かったと悔やまれます。スタッフの方々には、いつも子供の安全面などで大変気を使ってくださっておられるのが感じられ、感謝の気持ちでいっぱいです。準備等、大変だったと思います。本当にありがとうございました。(H. K)
- ・ いつも、ピオトープの整備をして事故が無いよう配慮して下さいましてありがとうございます。(Y. A)
- ・ お世話になりました。日ごろしないことをさせてもらって思ったことは、何でも経験だなあということです。本当に良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。(Y. T)
- ・ 一年間お世話になりました。私個人的な意見で申し訳ないのですが、もうすこし回数があればいいなと思いました。おもちもたくさんありがとうございました。あつという間になくなってしまいました。来年もぜひ計画たてて下さい。よろしくお祈いします。(H. M)
- ・ 一年間、ありがとうございます。初めて参加したのですが、非常に良い体験を親子でさせて頂きました。お世話して下さいった方々へ、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。(M. S)
- ・ 1年間大変お世話になりました。親子共々とてもいい時間と経験をさせて頂き感謝しています。スタッフの方々、ありがとうございました。(M. I)
- ・ 早いもので7年という月日が過ぎてしまいました。本当に毎年良い経験をさせて頂き、毎年子供が楽しみにして親も童心にかえって一緒に楽しみ、他ではなかなかできない経験でした。会の方たちには、いつも活動しやすいように、準備、お心遣いを頂き、本当に感謝しています。時代の流れとともに、いろんな考え方の親子さんがいるせいか、会の内容もずいぶんと変わってきて(特に今年)さみしさもあります。最初のころの方がもっと自由にいろいろ出来ていたなあと・・・(キャンプも1度きりで終わってしまいましたし、二俣瀬券もなくなってしまったし・・・子供がとても残念がってました。) たぶん私たち参加者のわからない所でいろいろご苦労がおありなんだろうなと勝手に思っています。またお世話になることが出来るかどうかわかりませんが、これからはがんばってください。ありがとうございました。(長男の将来の夢は、水族館の飼育員です・・・観察隊の影響でしょうか・・・親としてはそんな狭き門やめて現実を見てほしいと思ってしまうのですが・・・)  
(N. N)
- ・ 里山自然観察隊では、虫を追いかけたり、水の中をじっと見て、何がいるかと観察したり、日頃出来ない事が出来て、とても良いと思います。2年目という事もあり、ある程度余裕をもって観察出来たようです。(江汐公園に行った際も、フユイチゴを見つけて、子供2人がさわいで食べていました。) 自宅でも大きな図鑑をひろげて、虫の名前を調べてみたり、外に出る機会が増えました。子供にとっても、親にとっても、回数は少ないですが、一緒に自然の中で何かするという事は、とても良い事だと思います。サポートされる方は本当に大変だとは思いますが、続けて行って欲しいです。有難うございました。(N. T)
- ・ 今回もお世話になりました。娘も今年いっぱい・・・多分来年は中学校なので参加が難しくなる

と思います。今年はなるべく全部参加できる様にしたいと思います。毎回自然にふれられて、とても良い会だと思います。(J. Y)

- いつもお世話になります。22年度も継続できることを願います。(Y. K)
- 下の絵は、阿部滉子さんが書かれたものです。



〇ターカガラでおもちつき★〇

5. ビオトープ関連 (ビオトープのトンボたち) (管 哲郎 記)

(20) ムスジイトトンボ (イトトンボ科・クロイトトンボ属)

*Paracercion sexlineatum* (Selys)

宮城県以南～南西諸島にかけて生息し、中国～ベトナムあたりまでみられます。日本でも北海道では確認できていませんし、日本海側では多くないようです。

南西諸島では通年、4月～10月頃まで見られますが山口県内では羽化が5月末ごろから始まりますので、成虫は6月半ばくらいより見られるようになります。

植生豊かな池沼、海岸近くの汽水性池沼にも生息します。2002年6月中旬には阿知須きらら浜の自然観察公園内の塩水を含む池で本種の大量羽化が目撃されました。下図写真のような羽化ボールができるほどで、それ以来まだ観測されていません。大量羽化の原因は確認されていませんが、塩分濃度の関係で外敵の発生が抑えられ爆発的にヤゴが育ったものと考えられます。

同属のセスジイトトンボ、オオイトトンボによく似ているので同定には注意!



ムスジイトトンボ♂成虫



ムスジイトトンボ♀成虫



ムスジイトトンボ羽化ボール



ムスジイトトンボ集団羽化の状況

AM6:30 きらら浜自然観察公園内の池の周囲ほぼ全周にわたりこのような光景がみられました。それ以来このような集団羽化の状況はまだ見られていません。

## 6. 会よりの連絡事項 (事務局より)

厚東川水系森・川・海水環境ネットワーク協議会から連絡が入りました。活動は一年間延長が出来ます。この間、土地借用問題を解決し引き続いてつくる会の継続活動が出来るように手配中です。また平成22年度も従来通りビオトープ維持のための、助成金が戴けますのでお伝えいたします。お知らせー1

今までも、今後も活動に参加できない方は、遠慮なく退会を申し出ください。

(活動内容変更で個人的に考え方等そぐわないと思われる方)

18年度の総会で会費未納の方で1年間まったく活動に参加されない方は自動的に退会とみなすとなっておりますが、NPO法人化のグループの傘下に入った場合は変更され、総会で規約改定となります。

お知らせー2

メーリングリストの整理について、会員を退会された方、除籍になられた方のメールアドレスを整理しましたので、従来から会の連絡が入っていた方で会員外の方には毎回の連絡のご迷惑がかからなくなりました。勿論会の情報も入りません事をお知らせします。どうしても会の情報を知りたい方はホームページでご覧下さい。

## 7. 編集後記

春のような暖かな日が続くかと思えば、急に寒が戻ったりと体調管理に苦慮された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

2月7日、私にとっては今年初となるエコアップでした。この日は霜がひどく、ビオトープのため池には氷が張り、水車にはツララが下がっていました。「こんな寒いなか、ため池のエコアップするの?」と内心怖気づいていましたが、倉庫の掃除をすることになり一安心。しかもサツマイモを焼きながらという特典付き。焚き火で焼き芋なんて小学生以来で、思わずテンションが上がってしまいました。寒さが苦手な私にとって、冬のエコアップは正直キツイのですが、このように寒い冬だからこそ体験できることもあるのだと改めて感じた一日でした。

おいしいサツマイモをありがとうございました。そして、活動日以外にもビオトープで作業されている会員の方々、本当にお疲れ様です。

(松村 悠美 記)

昨年11月21日に久しぶりにビオトープの活動に参加して(といっても、ほぼ見学でしたが)、楽しかったなあっと余韻にひたっていたのに。その後、12月14日にあっという間に出産になってしまいました。今、2か月になったわが子を抱きながら、編集後記を書いています。今は、とても寒い時期ですので、本当にみなさんの活動をHPや会報で拝見するたびに、すごいなあ・・・と頭がさがります。

そこでふと思ったこと、当然ですが、子どもは、まだ小さくて細かな意思の疎通ができません。

でも、大人になったら、こうやってHPや会報でみなさんと交流がもてる、良いなあっとつくづく思います。

よちよち歩く頃には、蘭ちゃんも見学にいきますので、どうぞよろしく願いいたします。

(小田 政江 記)